

# 東北地方 1 か月予報

( 1 月 2 8 日から 2 月 2 7 日までの天候見通し )

平成 1 8 年 1 月 2 7 日  
仙台管区气象台発表

## <特に注意を要する事項>

この期間は寒暖の変動が大きく、東北日本海側では記録的な積雪となっている所がありますので、融雪や冬型の気圧配置の強まりによる大雪・なだれに注意して下さい。

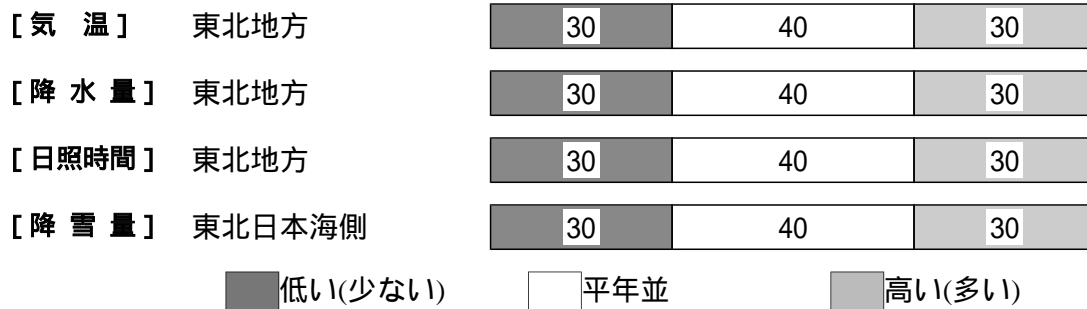
## <予想される向こう 1 か月の天候>

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

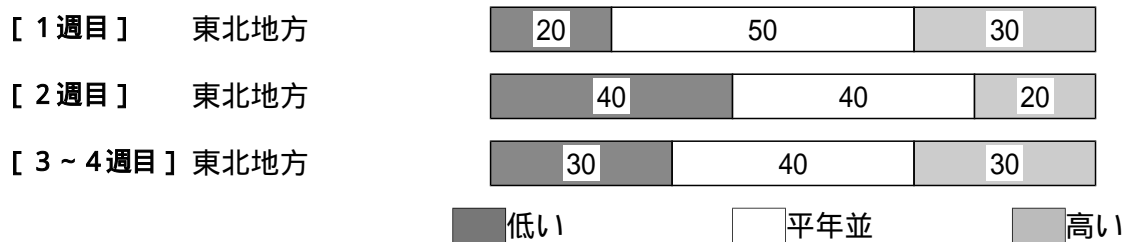
向こう 1 か月の平均気温は東北地方で平年並、降水量は東北地方で平年並、日照時間は東北地方で平年並、東北日本海側の降雪量は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は平年並か低い、3 ~ 4 週目は平年並でしょう。

## <向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

1 か月 : 1 月 2 8 日 ( 土 ) ~ 2 月 2 7 日 ( 月 )  
1 週目 : 1 月 2 8 日 ( 土 ) ~ 2 月 3 日 ( 金 )  
2 週目 : 2 月 4 日 ( 土 ) ~ 2 月 1 0 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 : 2 月 1 1 日 ( 土 ) ~ 2 月 2 4 日 ( 金 )

## <次回発表予定等>

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 2 月 3 日  
3 か月予報 : 2 月 2 3 日 ( 木 ) 1 4 時  
暖候期予報 : 2 月 2 3 日 ( 木 ) 1 4 時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	0.7	57.9	156.8	31	0.1	0.4	1.0
新庄	-1.1	160.4	59.7	271	-1.7	-1.4	-0.8
若松	-0.5	74.5	104.4	179	-1.2	-0.8	-0.2
深浦	-0.4	83.9	50.9	131	-1.1	-0.7	-0.1
青森	-1.3	129.3	78.0	232	-2.0	-1.7	-1.0
むつ	-1.7	91.9	98.9	187	-2.2	-2.1	-1.4
八戸	-1.1	56.3	145.2	115	-1.8	-1.5	-0.7
秋田	0.0	99.9	68.8	132	-0.6	-0.3	0.3
盛岡	-1.8	56.8	141.3	108	-2.6	-2.2	-1.4
宮古	0.1	80.1	168.5	75	-0.5	-0.2	0.4
酒田	1.3	126.5	62.8	134	0.8	1.1	1.6
山形	-0.3	74.8	107.2	165	-1.0	-0.7	-0.1
仙台	1.6	49.0	166.8	38	0.9	1.2	1.9
石巻	0.7	44.4	180.4	24	0.0	0.4	1.1
福島	1.7	51.4	159.4	75	0.9	1.3	2.0
白河	0.3	40.5	170.2	56	-0.4	0.0	0.7
小名浜	3.6	61.4	193.8	0	3.0	3.2	3.9

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3 ～ +0.5	79 ～ 108	96 ～ 104	82 ～ 112
東北日本海側	-0.3 ～ +0.5	91 ～ 107	91 ～ 108	90 ～ 110
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.6	66 ～ 113	99 ～ 103	75 ～ 115

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.6 ～ +0.9	-0.7 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.7
東北日本海側	-0.6 ～ +0.8	-0.7 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.6 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.9	-0.4 ～ +0.7

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 18 年 1 月 27 日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (1 月 28 日～2 月 27 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目 (1 月 28 日～2 月 3 日) :

東北日本海側や東北太平洋側山沿いは、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雪の日が多いでしょう。東北太平洋側は、期間の初めは晴れますが、期間の中頃から終わりにかけては、気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の降る日がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目 (2 月 4 日～2 月 10 日) :

冬型の気圧配置となる日が多く、一時強い寒気が南下するでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並か低いでしょう。

3～4 週目 (2 月 11 日～2 月 24 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

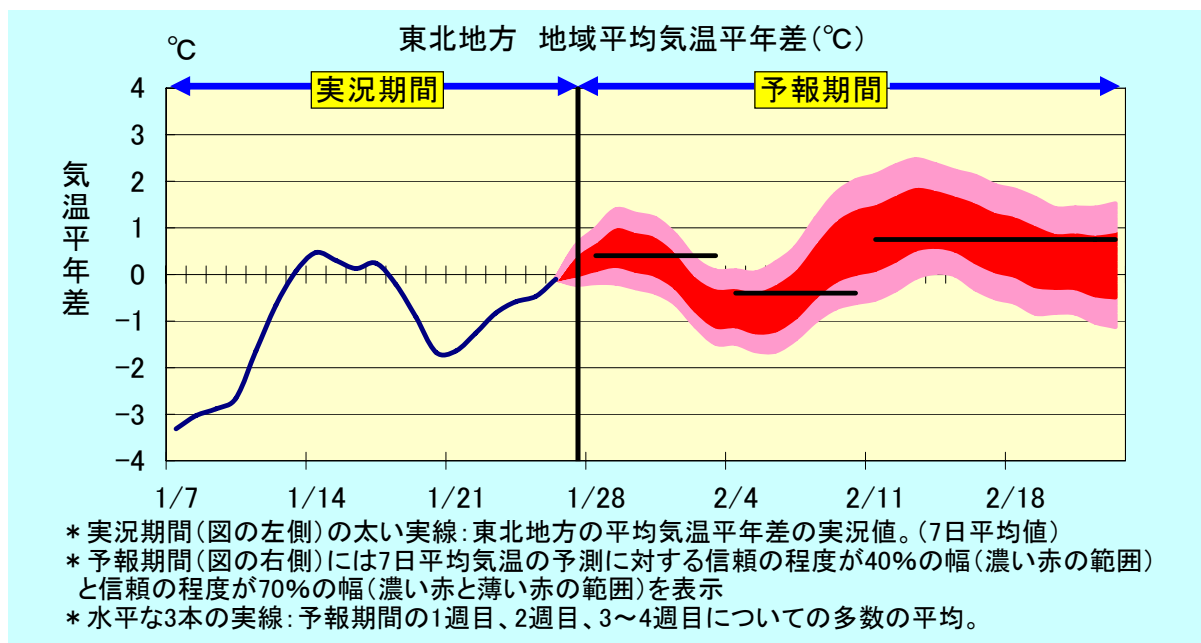
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	5.9 日	1.2 日	1.4 日	3.3 日
東北太平洋側	17.9 日	4.6 日	4.6 日	8.7 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1 週目、2 週目を「平年並」、3～4 週目を「高い」と予測している。予報はその他の資料から 2 週目を平年並か低い、3～4 週目を「平年並」、とする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

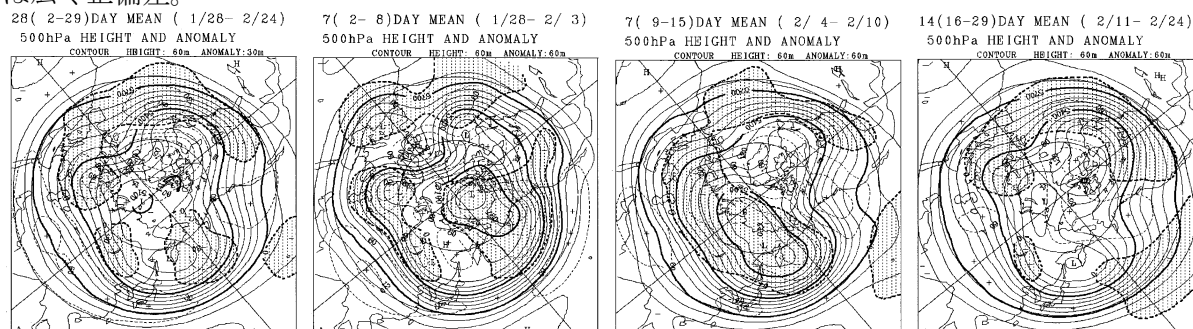


### 3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

#### 500hPa 高度と偏差：

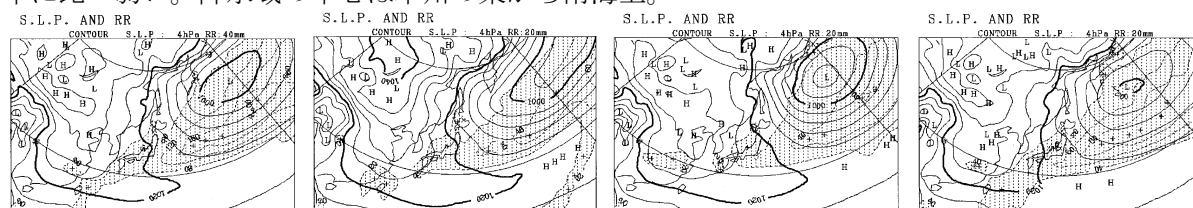
月平均では、日本付近は東半球中緯度帯の正偏差に覆われる。極付近は平均すれば正偏差でその周りで負偏差となり寒気放出型だが、極東域の寒気の南下は高緯度中心。

1週目は、シベリア北部やチベット付近の正偏差が日本付近にかかる。2週目は、タイミル半島付近からオホーツク海に広がる低圧部が明瞭で、東半球高緯度は広く負偏差。一方、東半球の中・低緯度は広く正偏差で、日本付近も北海道の一部を除き正偏差。3～4週目は、寒気放出型だが、極東の負偏差域はバイカル湖付近と日本のはるか東から日付変更線付近にある程度で、日本付近は広く正偏差。



#### 地上気圧と降水量：

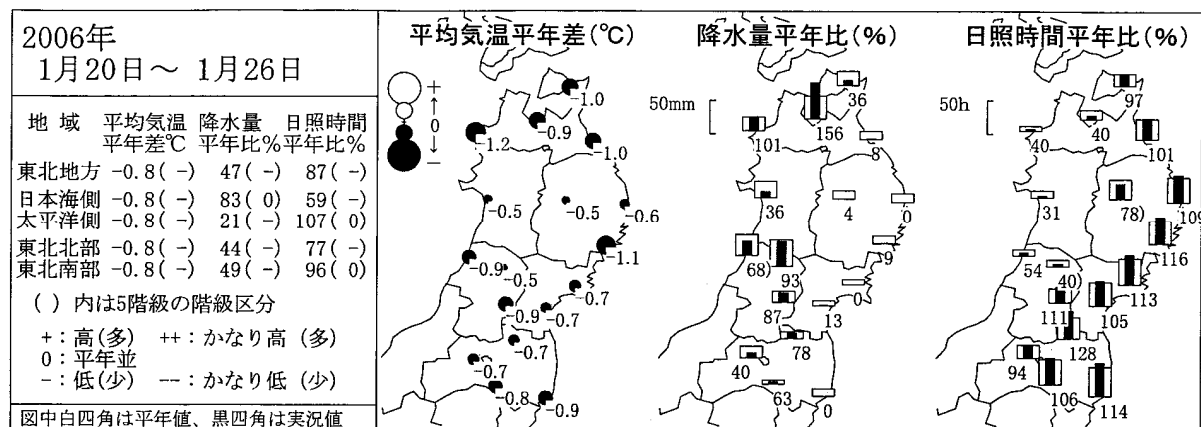
月平均では、カムチャツカ半島東の低圧部はほぼ平年並で、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年に比べ強い。1週目は、冬型の気圧配置で、カムチャツカ半島の南東の低気圧がやや強い。降水域は日本の東海上沖。2週目は、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年に比べ強く、カムチャツカ半島東の低圧部も平年より深く、北日本中心の冬型。3～4週目は、大陸から日本付近への高気圧の張り出しが平年に比べてやや強く、カムチャツカ半島東の低圧部が平年に比べ弱い。降水域の中心は本州の東から南海上。



### 4. 最近1週間（1月20日～1月26日）の天候の経過

期間を通して冬型の気圧配置となる日が多く、22日から23日にかけては強い寒気が流入したため、気温がかなり低くなり東北日本海側では強い雪が降った。23日は各地で強風となり、交通機関などに影響が出た。東北太平洋側では晴れの日が多かったが、22日と26日には一時雪となった所があった。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)